

# 校報 ねごる

岩出市立根来小学校  
学校だより No.7  
令和2年7月2日  
文責：柏木



## 「心」にも栄養を

7月に入りました。カレンダーを見ると、7月23日（木）が「海の日」、7月24日（金）が「スポーツの日」の祝日となっています。通常であれば、「東京オリンピック」が開催される時期だったんだと改めて実感しました。

現在、プロ野球やサッカー（Jリーグ）も再開されてきました。スポーツ少年団の活動やいわでアスリートクラブも9月から始まります。徐々にではありますが、明るい話題が増えてきました。

さて、6月の一斉登校後に身長・体重を測定しました。1月以来の測定で、成長具合も人それぞれですが、数値として確認することができました。私たちは誰もが、子どもから大人へと成長していきますが、身体だけでなく心も成長していきます。

この二つは車の両輪のようなもので、どちらも大事なのですが、私たちは目に見える身体には何かと気を使いますが、目に見えない心の方は、つついおろそかになりがちです。

しかし、身体に栄養が欠かせないように、「心」にも十分栄養を与えることが必要です。よく、「気分転換」や「リフレッシュ」と言います。その方法は、一人一人異なります。好きなことや集中（没頭）できることが、その方法の一つです。それ以外にも、興味関心のある新しい事にチャレンジしたり、読書をして知識を身につけたりすることで、心が耕されます。

何より、心の栄養で一番大事なものは、人との関わりあいの中で育まれます。特に「認めてあげる」という栄養が心を大きく成長させます。

私たち人間には元々人格的欲求というものがあり、その一番強いものが「承認の欲求」だと言われています。それが「認めてもらいたい」というものです。その欲求が心に満たされると、人間は俄然やる気が出てきて、自分の持っている能力を最大限に発揮することが出来るのです。

誰もが、「上手になりたい、できるようになりたい」と思っていますが、なかなか結果が出ない場合があります。そんなときでも、上手くできなかったことに対して、どうしたらできるようになるのかを考え、「できなかったことに挑戦している姿」を認めてあげる。結果までのプロセスや次への一歩を大切にできるように子ども達を支援していければと考えています。

## 「価値がない情報」を見極めるポイント

- ㊦ 書いた人は誰か
- ㊧ 違う情報と比べたか
- ㊨ 元ネタ（根拠）は何か
- ㊩ 何のために書かれたか
- ㊪ いつの情報か

※ 聖路加国際大学 中山教授による



現代社会において、正しい（価値のある）情報を見極めることは、大変重要となります。少し前までは、新聞やラジオ、テレビなどから情報を得ることができました。しかし今は、新聞やラジオ、テレビに加え、SNSの普及により短時間で情報が拡がります。その情報が正しいものであるのかどうかを判断する際に確認すべき点を紹介します。

- (1) 書いた人は誰で、専門知識があるか。匿名だと無責任な発信の場合がある。
- (2) 違う情報を探し、比べる。特定の情報だけをすぐに信じてはいけない。
- (3) 元ネタは何か、根拠を示す文献がなければ、個人の考えで勝手に言っているだけの可能性がある。
- (4) 何のために書かれたか。商品やサービスを売る目的のことがある。
- (5) いつの情報か。古い情報だと、現在では当てはまらない可能性がある。

こうした点が確認できなければ「価値がない情報」と判断する考え方は、今回紹介しました内容は、新型コロナウイルスに関連して、健康情報を読み解く力「ヘルスリテラシー」について着目されてきましたが、この情報を見極める力は、今後ネット社会を生きるためには必要な力となってきます。

学校においても、発達の段階に応じて「情報モラル教育」を進めていきますが、各家庭におかれましても正しく判断し活用できるように、使い方も含め子ども達に指導よろしく願います。

## 行事関係について

昨年度末以来、様々な行事が中止や規模を縮小しての実施などと様々な対応をしてきました。全体に関わって下記の2つの行事を中止とさせていただきます。ご理解いただきますようお願いいたします。

- 1 ねごろっこまつり
- 2 運動会

但し、11月中（平日の午前中）に、低学年（1・2・3年）と高学年（4・5・6年）でミニ運動会（仮称）を計画します。